



学校だより

南光

4月特別号

平成23年4月11日

仙台市立南光台中学校

発行責任者：教頭 千葉 文郎

「みんなで力を一つにして、思いやりの気持ちがあふれ、
笑顔と笑い声の絶えない学校を目指そう」

南光台中学校長 福島 邦幸

3月11日金曜日に発生した東日本大震災は、未曾有の大災害となりました。亡くなられた方、行方不明の方を合わせると2万7千人を超えました。津波により自宅も流されて住む場所もなくなった方々も10万人を超えております。本当に大変な災害です。保護者の皆様のご自宅も少なからず被害を受けていることと思われまます。本校もいろいろなところが壊れて危険な箇所もございます。

このようなときに大切なのは、人を思いやる温かい心の輪だと思います。私は、この大変な時期にボランティアとして南中に来て力を貸してくれた生徒が150人以上いたという話を聞いて、大変うれしく思いました。まだまだ、生徒の力を借りなければならない場面がたくさん出てきます。学校が一丸となって、南光台地区のために何が必要なのか、何ができるのかを一緒に考え、復興の土台を築いていきたいと思ひます。

さて、大変残念なことに南光台小学校も甚大な被害を受け、使用できなくなりました。そのため、南光台小学校の3年生以上の児童のみなさんが本校にきて、同じ校舎で学ぶこととなりました。児童・生徒にとっても、保護者の方々にとっても、すべてがはじめての経験です。困難な道程ですが、みんなで力を一つにして、思いやりの気持ちがあふれ、笑顔と笑い声の絶えない南光台中学校にしていきたいと思ひています。ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

☆学校が目指す4つの笑顔☆ (昨年度と少し違います。)

- 1 分かる喜びによる笑顔・・・・・・・・・・確かな学力
- 2 友との思いやりをもった良好な関係による笑顔・・・豊かな心
- 3 困難を乗り越えやり遂げた充実感による笑顔・・・逞しく生きる力
- 4 働く喜び、人のために尽くす喜びによる笑顔・・・奉仕の精神

今年度は、昨年度までの取組を踏襲しつつ「思いやりの心と笑顔」を生徒の目標とさせ、震災により傷ついた友人・後輩を自ら温かく包み込むような思いやりの心で、みんなが笑顔で一体となって復興に取り組めるような学校を目指し、指導していきたいと思ひます。